

目指す児童像 『自分で考え、よりよい判断ができる子ども』

今年の漢字

先週12月12日に今年の漢字が発表されました。令和6年は『金』でした。選考理由は、金(きん)メダルや佐渡金山の世界遺産登録、金(かね)にまつまわる話題が多かったということでした。

ただ、オリンピックの年(2021・2016・2012)は『金』が続いているなあとも感じました。みなさんの今年を表す漢字一文字は何でしょうか。私は『描』かなと思います。小栗小に赴任し、学校像、子ども像を描き、拙いながらイラストを描いて校長室前に掲示させていただいた年でした。

令和6年を振り返ると

あと2週間ほどで令和6年の幕が下ります。個人的な振り返りは人それぞれかと思いますが、少し全国的な視点での振り返りをしてみたいと思います。

災害・気候のニュースを聞くことが多くありました

- 元日の能登半島を襲った地震をはじめ、夏休み中の宮崎県の地震など地震の緊急速報が例年以上に多く感じられました。
- 局地的な大雨による被害が各地で起こりました。特に震災に見舞われた地域が大雨にも、というケースがありました。
- 猛暑が続き、11月に入っても日中は20度を超える気温、台風の発生などこれまでの気象の常識が通じなくなっている感がありました。

スポーツの世界で活躍する選手のニュースも多かったと思います

- オリンピック・パラリンピック、メジャーリーグ、NBAなど海外を舞台に活躍する選手が増えてきました。
- 諫早市出身のプロ野球選手が誕生しました。今後の活躍に注目です。

新しい犯罪の手口が連日ニュースになっていました

- 若い世代を中心に、安易に犯罪に手を染めるニュースが増えました。

毎年、明るいニュース・暗いニュースがあるのは世の習いですが、ニュースを切り口に今年を振り返って見るのもいいかなと思います。

